



マレーシア人実習生の部屋に敷かれているお祈り用のSEJADAH (セジャダ)。メッカの方向に向けられています。

# あじけん通信

2015 FEBRUARY  
VOL.86

株式会社きぼう国際外語学院  
企画・編集 澁谷 健司

2月に入り、厳しい寒さが続いています。アジ研でも、朝の最低気温が氷点下になることもあります。毎年のことなので、寒さには馴れているはずの私たちでさえ、厳しい冷え込み。気温が30℃を超える東南アジアの国々から来日する実習生の皆さんにとっては、尚更のことでしょう。そんな苛酷とも思える環境でも、実習生の皆さんは、毎日、明るく、元気に日本語に取り組んでいます。

## あじけんスコープ

気持ちはわかるけど・・・。

Vol.30

下の写真は、この時期に、来日したばかりの実習生に良く見られる「服装」？です。寒さに不馴れた実習生の皆さんにとっては、建物の中でも寒さを感じる人が多いのでしょうか。それでも、日本では、室内での防寒着の類の着用は、マナー違反。建物の中では、帽子・手袋は使わない、コート類は教室に入ったら脱いでイスの背もたれに掛ける、この2つを徹底しています。「かわいそうかな・・・」と思うときもありますが、厳しさも愛。実習先で上司から注意を受ける前に、当センターで日本の生活に体を慣らして欲しいとの思いから、心を鬼にして、指導しています。



## 今月の実習生



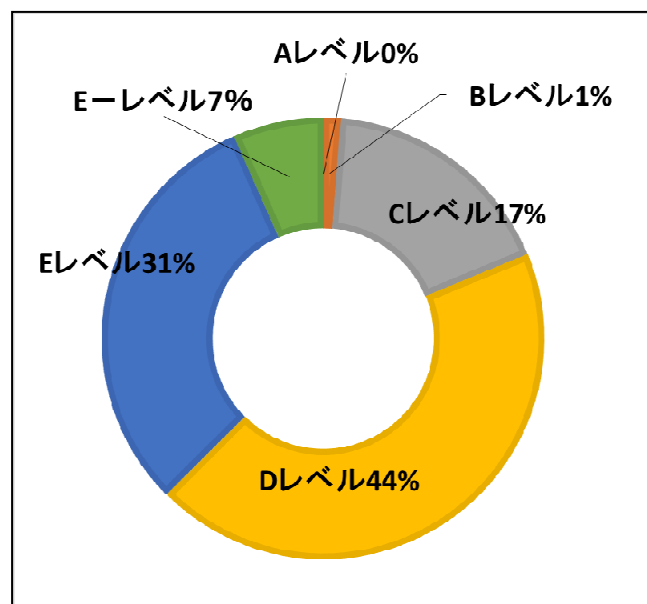
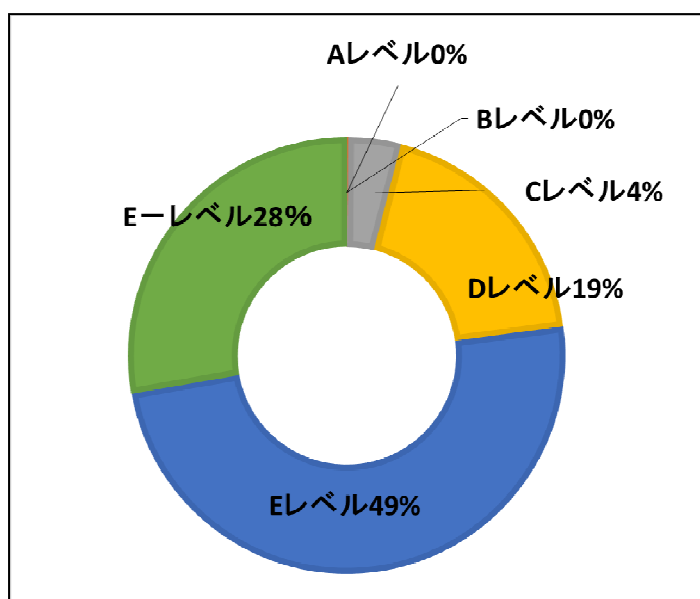
今月のは本校初となるマレーシアからの実習生、左の写真の前列、左から HAMDAN (ハムダン) さん・FAKRUL (ファクル) さん・NIK (ニク) さん・後列、左から EMIRUL (エミル) さん・NORAFZARIZAL (リザル) さん・ANUAI (アヌアイ) さんを紹介いたします。皆さん、とても真面目で、学習意欲が高く、日本語力が着実に伸びてきています。教室ではフィリピン人実習生の皆さん5名と一緒に授業を受けていますが、皆さんとても温厚な性格で、お互いに和やかなムードで日本語学習に励んでいます(写真右)。因み、に彼らは、敬虔なイスラム教徒なので、豚肉と、HALAL 肉(イスラム教の戒律に従って処理されたと認定されている肉)ではないお肉は食べません。その為、鶏肉を買う時は、近くのスーパーではなく、少し離れた輸入食品が扱われているスーパーまで行って購入しています。また、授業中は時間をずらしていますが、毎日5回のお祈りも欠かさないそうです。

# あじけん流日本語授業

## ～会話テストから見える実習生の会話力の向上～

会話テストⅠ判定結果  
(講習開始時実施)

会話テストⅡ判定結果  
(講習修了時実施)



※ データは昨年(2014年)のテスト結果を基に算出されています。また、来日前の日本語学習期間が1年半～2年間と長いホテル実習生のデータは基礎データに含んでおりません。

今回は、当校で講習開始時と修了時に行われ、「日本語講習報告書」の総合評価でもご報告させていただいている、会話テストⅠ・会話テストⅡのデータの分析結果をご報告させていただきます。

データから分かる通り、会話テストⅠでは77%がEレベル(基本的な指示や質問であっても、自然な速度の日本語で話しかけると応じることが出来ないとされるレベル)、もしくはEレベルにも達していないE- (イー・マイナス)レベルです。この実習生の割合を出来るだけ減らし、本校が技能実習を安全で円滑に行なう為に最低限必要な日本語力として設定しているDレベル(基本的な指示や質問であれば、自然な速度の日本語で問いかけられてもスムーズに応じることが出来るレベル)に引き上げることが、本校での日本語指導の目標となっています。今回の集計で会話テストⅡの時点では、E、もしくはE-レベルの実習生は38%にまで減っていることが分かりました。しかし、見方を変えれば、まだ全体の38%もの実習生の皆さんが、Dレベルに満たない状態で日本語講習を修了しているということになります。

今年も一人でも多くの技能実習生の皆さんがDレベル以上の日本語力を身に付け、本校での日本語講習を修了出来るよう講師スタッフ一同、精一杯取り組んでいきたいと思っております。

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます。